



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年8月4日

上場会社名 加賀電子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8154 URL http://www.taxan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 門 良一  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 川村 英治 TEL 03-5657-0111  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	58,349	2.6	1,598	89.6	1,773	73.3	1,147	153.9
27年3月期第1四半期	56,849	△1.4	842	139.9	1,023	96.8	451	723.0

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,289百万円 (377.1%) 27年3月期第1四半期 270百万円 (△59.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	40.60	—
27年3月期第1四半期	15.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	121,684	60,197	49.4
27年3月期	127,948	59,603	46.6

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 60,151百万円 27年3月期 59,564百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 27年3月期 期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 特別配当10円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	125,000	3.9	3,100	1.1	3,300	△9.3	2,200	2.0	77.86
通期	260,000	1.9	6,500	2.2	7,000	△8.7	4,600	4.2	162.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	28,702,118株	27年3月期	28,702,118株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	446,123株	27年3月期	446,040株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	28,256,017株	27年3月期1Q	28,257,098株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国経済の成長鈍化や欧州債務問題などの懸念材料はあったものの、政府の経済対策や日銀の金融政策を背景に企業収益の回復や雇用情勢の改善が続くなか、個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、パソコンや民生電子機器の需要は低迷が続いておりますが、モバイル端末市場や車載市場、メディカル・ヘルスケア市場の需要も増加し、環境・エネルギーやIoT<sup>(注1)</sup>、ウェアラブル端末などの新興市場も成長がみられるなど堅調に推移しました。

かかる環境の中で、当社グループは「すべてはお客様のために」という経営理念のもと、組織変更によりグループ全体の連携を強化し、既存大手顧客への拡販や新商材の開拓および海外ビジネスの拡大に努めてまいりました。

その結果、第1四半期連結累計期間における売上高は58,349百万円(前年同四半期比2.6%増)、営業利益は1,598百万円(前年同四半期比89.6%増)、経常利益は1,773百万円(前年同四半期比73.3%増)となり、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,147百万円(前年同四半期比153.9%増)となりました。

(注1) Internet of Thingsの略語。あらゆる物がインターネットを通じてつながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①電子部品事業(半導体、一般電子部品、EMS<sup>(注2)</sup>などの開発・製造・販売など)

電子部品事業は、国内における通信機器の販売やアミューズメント機器向け電子部品・半導体の販売および海外における電子機器向けEMSビジネスなどが堅調に推移しました。その結果、売上高は45,592百万円(前年同四半期比3.6%増)、セグメント利益は1,472百万円(前年同四半期比64.8%増)となりました。

(注2) Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

## ②情報機器事業(パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品などの販売など)

情報機器事業は、パソコンやデジタルカメラなどの取扱高が需要低迷により減少しましたが、住宅向け関連商材などの販売は堅調に推移しました。その結果、売上高は9,666百万円(前年同四半期比1.5%減)、セグメント利益は93百万円(前年同四半期はセグメント損失26百万円)となりました。

## ③ソフトウェア事業(CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)

ソフトウェア事業は、アニメーションのCG制作やゲームソフトの開発および販売に注力する一方で、費用削減に努めた結果、売上高は471百万円(前年同四半期比75.9%増)、セグメント利益は144百万円(前年同四半期はセグメント損失21百万円)となりました。

## ④その他事業(エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など)

その他事業は、国内のアミューズメント業界向けゲーム機器事業やパソコンおよび通信機器の再生事業などが低迷しました。その結果、売上高は2,618百万円(前年同四半期比5.2%減)、セグメント損失は88百万円(前年同四半期はセグメント損失36百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、121,684百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,264百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、61,486百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,858百万円の減少となりました。これは主に仕入債務の減少によるものであります。

純資産につきましては、60,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ594百万円の増加となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月7日の「平成27年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました連結業績予想より変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,130	17,272
受取手形及び売掛金	58,167	52,095
有価証券	127	125
商品及び製品	17,276	18,262
仕掛品	401	832
原材料及び貯蔵品	5,024	4,819
繰延税金資産	929	798
その他	4,497	4,103
貸倒引当金	△131	△127
流動資産合計	104,424	98,183
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,455	5,354
機械装置及び運搬具(純額)	2,285	2,265
工具、器具及び備品(純額)	936	880
土地	4,041	4,041
建設仮勘定	6	6
有形固定資産合計	12,725	12,549
無形固定資産		
のれん	607	574
ソフトウェア	479	498
その他	44	95
無形固定資産合計	1,131	1,167
投資その他の資産		
投資有価証券	6,351	6,535
繰延税金資産	274	276
その他	4,210	4,146
貸倒引当金	△1,169	△1,174
投資その他の資産合計	9,667	9,783
固定資産合計	23,524	23,500
資産合計	127,948	121,684

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,543	35,598
短期借入金	5,925	5,106
未払法人税等	1,286	800
その他	6,856	6,704
流動負債合計	54,612	48,210
固定負債		
長期借入金	8,253	7,896
役員退職慰労引当金	1,501	1,155
退職給付に係る負債	1,643	1,711
その他	2,335	2,513
固定負債合計	13,733	13,276
負債合計	68,345	61,486
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,912	13,912
利益剰余金	31,029	31,470
自己株式	△537	△537
株主資本合計	56,538	56,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	790	927
繰延ヘッジ損益	23	3
為替換算調整勘定	2,462	2,542
退職給付に係る調整累計額	△250	△300
その他の包括利益累計額合計	3,026	3,172
非支配株主持分	38	45
純資産合計	59,603	60,197
負債純資産合計	127,948	121,684

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	56,849	58,349
売上原価	49,579	50,334
売上総利益	7,269	8,014
販売費及び一般管理費	6,426	6,416
営業利益	842	1,598
営業外収益		
受取利息	41	26
受取配当金	58	63
受取手数料	77	53
その他	147	78
営業外収益合計	325	221
営業外費用		
支払利息	29	27
為替差損	91	3
その他	24	15
営業外費用合計	145	46
経常利益	1,023	1,773
特別利益		
固定資産売却益	7	0
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	7	1
特別損失		
固定資産除却損	3	0
投資有価証券評価損	163	2
事務所移転費用	4	—
その他	—	0
特別損失合計	171	2
税金等調整前四半期純利益	859	1,772
法人税、住民税及び事業税	269	347
法人税等調整額	134	281
法人税等合計	403	629
四半期純利益	455	1,143
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	451	1,147
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3	△3
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42	136
繰延ヘッジ損益	△6	△19
為替換算調整勘定	△238	79
退職給付に係る調整額	16	△50
その他の包括利益合計	△185	146
四半期包括利益	270	1,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266	1,293
非支配株主に係る四半期包括利益	4	△3

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	44,004	9,812	268	2,763	56,849	—	56,849
セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	158	729	622	1,792	△1,792	—
計	44,286	9,971	997	3,386	58,641	△1,792	56,849
セグメント利益又は 損失(△)	893	△26	△21	△36	809	33	842

(注) 1. セグメント利益の調整額33百万円には、セグメント間取引消去33百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	45,592	9,666	471	2,618	58,349	—	58,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	187	170	684	238	1,281	△1,281	—
計	45,779	9,837	1,156	2,857	59,631	△1,281	58,349
セグメント利益又は 損失(△)	1,472	93	144	△88	1,622	△24	1,598

(注) 1. セグメント利益の調整額△24百万円には、セグメント間取引消去14百万円、のれんの償却額△38百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。